

# ムクドリのおねぐらとハザードマップの関係性

埼玉県立朝霞高校 2年 田中祐介

## <研究背景と目的>

毎冬、自宅の裏の竹林を数千羽のムクドリがねぐらにしている。一晩中続く大音量の鳴き声と、飛行中の糞害で周辺住民を悩ませている。なぜムクドリは毎冬この場所を選ぶのか。

自宅のある場所は昔、お寺の竹林の一部であった。家を建てた際地元の人から竹林は災害に強いと聞いていたので、ムクドリも災害時に安全なところにねぐらを作っているのではないかと想定し、ねぐらの場所とハザードマップを重ね合わせ二つの関係性を調査することにした。

## <研究方法>

- 文献調査により都内ねぐらを選定  
日本都市計画学会都市計画報告集「東京都区部におけるムクドリの集団ねぐらと周辺土地利用の関係」より目視で確認された都内6地点
- 和光市環境課での聞き取り調査により和光ねぐらを選定  
和光市環境課に市民から情報提供のあった和光3地点
- ムクドリのおねぐらと国土地理院「重ねるハザードマップ」を重ねる
- もっと知りたいねぐらを現地調査

## <調査と考察>

### ① 和光ねぐら3地点(下新倉4丁目、新倉2丁目、新倉小学校)



↑ 2021.12 下新倉4丁目の様子

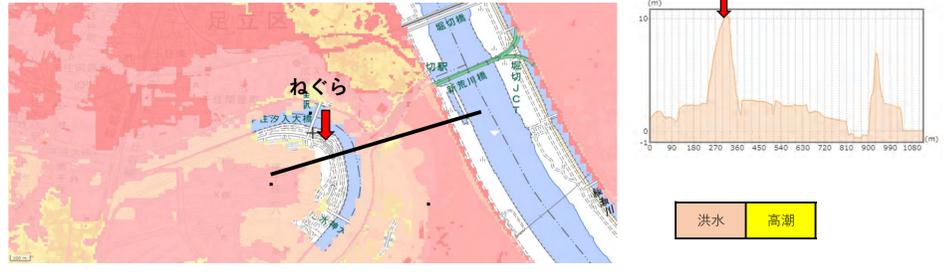
#### 和光ねぐら3地点に共通する条件

- ◎ 高台
- ◎ 災害の危険がない
- ◎ 近くに湧き水がある

聞き取り調査実施 2022. 8. 4  
和光市環境課の方の話では、ムクドリは12月から春にかけて2週間ごとに拠点を移して生息しているとのこと。地図より一級河川荒川と谷中川にはさまれた高台の新興住宅地内にムクドリが生息していることが分かる。またねぐら3地点すべての付近に湧き水池があることにも注目したい。自宅の隣の寺にも、子安池という古くからの湧き水池がある。これらのことより、ムクドリはねぐらを選ぶときに左記のようなことに重点をおいているのではないかと考えた。

もっと知りたい!

### ① 荒川区汐入公園



現地調査実施 2022.8.5  
近くから見ると丘のように見える公園内はムクドリがねぐらに選ぶであろう10m程度の樹木があった。利用者が多く、見晴らしがよく開けていた。江戸時代からの水運の要衝で、1988年までは製紙工場があり、現在では区指定の避難所としても機能している。

### ③ 大田区洗足池図書館横の竹林



付近に池があるが、高台に位置しているため災害の危険性は低い。②④地点と比べて標高が高い地域の池の近くにある。

### ⑤ 世田谷区千鳥山駅付近の竹林



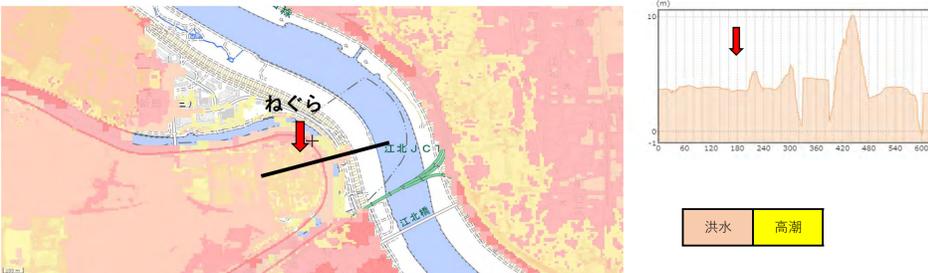
竹林のわきは低地になっており、洪水のリスクがある。低地を避けた高台にねぐらを作っていることが分かる。少し離れたところに仙川が流れている。③と同様標高が高い。駅前なので人通りも激しいと思われる。竹林があり、平坦になっている。

### ② 江戸川区西葛西駅



西葛西駅周辺は0メートル地帯であり、洪水、高潮の危険もあり安全とは言えない。南側に高台があり、洪水などの危険もないのでムクドリはここで生活しているのかもしれない。

### ④ 北区豊島五丁目団地前電線



川に囲まれていて洪水、高潮の危険性が高い。団地の北側や土手に安全な場所がある。断面図から川より西側のムクドリ生息エリアは平坦になっていることが分かる。

### ⑥ 港区東京海洋大学構内の船舶

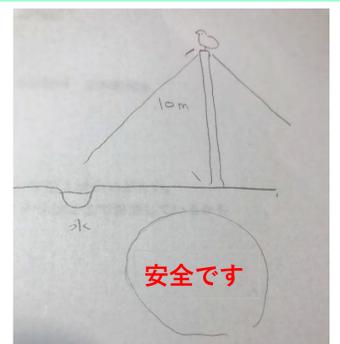


人工物に生息している珍しい場所。海上に位置しているが、大型の船舶であるために洪水や高波から難を逃れているのかもしれない。

## <結果と今後の展望>

この調査から、ムクドリはハザードマップでの安全がほぼ確保され、水辺に近い土地の地表から10メートル付近にねぐらを作っていることがわかった。ムクドリのおねぐらがその土地の安全性の判断基準となれば、将来、ねぐらの地下利用例としてこんなのはどうだろうか。

- ◆ スーパーコンピューター設置
  - ◆ データセンター
  - ◆ 航空交通管制部 ◆ 道路管制センター
- ただし地上は、糞害と騒音の対策が必要です。



## <参考文献 / 聞き取り調査協力>

- 「東京都区部におけるムクドリの集団ねぐらと周辺土地利用の関係」山内彩加ほか(公益財団法人日本都市計画学会都市計画報告集No.14, 2016年2月)
- 「重ねるハザードマップ」国土地理院
- 「和光市自然環境マップ」和光緑と湧き水の会 / 調査協力 和光市役所環境課